

第47回 飛騨地区春季陸上競技記録会

1 主催 ・ 飛騨地区陸上競技協会

2 期日 ・ 令和6年5月3日(金) 4日(土) 雨天決行

3 時刻 ・ 3日 9時30分競技開始 ・ 4日 8時30分表彰式 9時30分競技開始

4 会場 ・ 中山公園陸上競技場 (高山市山田町690)

5 種目

日	種別	男子	女子
3	小学生	50m(2年以下) 80m(3,4年) 100m(5年以上) 800m(4年以上) 混合4×100mR 走幅跳(4年以上)	50m(2年以下) 80m(3,4年) 100m(5年以上) 800m(4年以上) 混合4×100mR 走幅跳(4年以上)
	高校生	100m 400m 1500m 110mH(1.067m) 3000mSC 5000mW 4×100mR 走幅跳 ハンマー投(6.000kg) やり投(800g)	100m 400m 1500m 110mH(0.840m) 5000mW 4×100mR 走幅跳 ハンマー投(4.000kg) やり投(600g)
	一般	110mH(1.067m) 3000mSC 5000mW ハンマー投(7.260kg) やり投(800g)	100mH(0.840m) 5000mW ハンマー投(4.000kg) やり投(600g)
4	中学生一般	100m 200m 400m 800m 1500m 3000m 5000m(一般) 110mH(0.914m 中学) 400mH(0.914m 一般) 4×100mR 4×400mR 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投(7.260kg 一般)(5.000kg 中学) 円盤投(2.000kg 一般)(1.500kg 中学)	100m 200m 400m 800m 1500m 3000m 100mH(0.762m 中学) 400mH(0.762m 一般) 4×100mR 4×400mR 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投(4.000kg 一般)(2.720kg 中学) 円盤投(1.000kg 中学・一般)
	高校生	200m 800m 5000m 400mH(0.914m) 4×400mR 走高跳 棒高跳 三段跳 砲丸投(6.000kg) 円盤投(1.750kg)	200m 800m 3000m 400mH(0.762m) 4×400mR 走高跳 棒高跳 三段跳 砲丸投(4.000kg) 円盤投(1.000kg)

6 参加資格 ・ 飛騨地区に在職在住で、本協会登録者の一般、高校生、中学生、小学生、スポーツ少年団員とする。但し、岐阜陸協登録者とする。
飛騨地区の中学、高校出身で本協会並び岐阜陸協登録者の大学生参加を認める。

7 出場制限 ・ 小学生、スポーツ少年団員は一人2種目以内とする。(リレー別。1年生～3年生は一人)

- 1 種目)
- ・中学生、高校生、一般は種目制限なしとする。
 - ・高校生については決勝を設ける。(100m、200m、400m、100mH、110mH)
- 8 参加料
- ・1種目につき、一般＝900円 高校生＝700円 中学生＝600円
小学生＝400円
 - ・指定口座（P44参照）へ振込むこと。
- 9 申込方法
- ・令和6年4月15日（月）PM5時までに必着を厳守すること。
 - ・飛騨陸協HPから競技会申込ファイルをダウンロードし、必要事項を入力してアップロードする。
 - ・申込ファイルの入力やアップロードは、HP掲載の注意事項に従って行うこと。
 - ・春季記録会出場者は、〒506-0032 高山市千島町291 高山工業高校内 家垣政徳へ一覧表と参加料振込の控え(コピー可)を送付すること。
 - ・一覧表に記入漏れのないようにし、必ず責任者が点検のうえ提出すること。
 - ・参加料の届かない場合や補助員又は補助役員の記入のない場合等は、申込不備として受け付けない。
- 10 記録証
- ・小学生には、記録証を授与する。
- 11 諸連絡
- ①出場者は、前日までに健康診断を受けておくこと。
 - ②スポーツ傷害保険の適用者は競技者・審判員・審判役員である。適用時間は会場までの往復及び競技時間とする。詳細は協会（総務）へ尋ねること。
 - ③アスリートビブスは、岐阜陸協指定のものとし、令和6年度岐阜陸協登録番号を使用すること。
 - ④アスリートビブスを胸・背につけない者は、出場できない。但し、跳躍種目出場者は胸又は背のみでよい。
 - ⑤スパイクは、8mm以下のピンを使用すること。但し、走高跳・やり投出場者は、11mm以下のピンとする。
 - ⑥小学生は、一覧表に学年を明確に記入すること。
 - ⑦小学生4年生以上は、8mm以下のスパイクの使用を認める。但し、800mは、使用できない。
 - ⑧申込ファイルには、最近の自己記録を必ず入力すること。
 - ⑨投てき用具は持参した物を検定を受けて使用してもよい。
 - ⑩補助員（生徒）は、中・高校生参加者が
 - 7名以下・・・・・・・・1名
 - 8～14名・・・・・・・・2名
 - 15～20名・・・・・・・・3名
 - 21名以上・・・・・・・・4名
 できる限り選手を兼ねない者で選出し、申込書に記入すること。
 - ⑪補助役員（小学生保護者）は小学生の参加者が
 - 10名以下・・・・・・・・2名 11～20名・・・・・・・・4名
 - 21～29名・・・・・・・・5名 30名以上・・・・・・・・6名

育成会等から補助役員（小学生保護者）を選出し、スポーツ傷害保険に加入する関係か

- ら、必ず申込書に氏名を記入すること。但し、公認審判員は選出しないこと。
- ⑫補助役員（小学生保護者）には、主催者で弁当を準備する。
 - ⑬警報発令の時は状況により中止する場合がある。その際参加料は返金しない。